

## 担い手の経営のライフステージに応じた支援

 (1) 養鶏事業開始の支援について
農林中央金庫 福島支店（福島県）

新規	継続
○	( 年 月 )

1 動機(経緯)	<p>農林中央金庫 福島支店（以下、福島支店という。）は、東日本大震災による農林水産業への甚大な被害を踏まえ、2011年に「東日本大震災復興支援プログラム」を創設し、その一環として、地域を代表する復興プロジェクトを後押しするための長期低利融資制度「東日本大震災復興ローン」による支援を行ってきました。</p> <p>今回の融資先であるA株式会社は、銘柄鶏「伊達鶏」等のブロイラー生産・加工・販売を営む県内有数の法人です。葛尾村における養鶏業再興に向けた当社の取組みを後押ししていくために、直営農場新設資金として東日本大震災復興ローンを融資しました。</p>
2 概要	<p>葛尾村は、震災後に村内の養鶏農家4戸すべてが廃業を強いられ、養鶏業の存続が危ぶまれていた地域です。2016年6月に帰還困難区域を除く地域で避難指示が解除され、村民の帰還が徐々に進むなか、当社は同村に直営農場「かつらお農場」を新設することで、村の養鶏業再興および帰還村民の雇用創出を目指しています。</p> <p>福島支店は、当社の取組みが福島県の養鶏業振興に寄与するだけでなく、被災地の復興・雇用創出につながるものであることから、当社に対して本農場建設資金を融資し、本件の実現を支援いたしました。</p>
3 成果(効果)	<p>「かつらお農場」には、廃業した農家の養鶏場跡地に鶏舎3棟が建設されました。2018年10月25日から稼働開始して3回に分けて計4万7千羽が入雛され、今後は年間22万3千羽の生産を計画しています。さらに、従業員3名の雇用も予定されており、葛尾村での雇用創出支援の一助となりました。</p>
4 今後の予定	<p>当社は更なる直営農場の建設も予定しており、今後とも金融面でのサポートを継続していく方針です。</p>

【鶏舎内の様子】



【「かつらお農場」の鶏舎3棟の外観】

